

# Das Leben in Europa

# ヨーロッパの暮らし



**高木書店**  
**T. TAKAGI GmbH**

Immermannstr.31 / Oststr.78 40210 Düsseldorf  
 Tel.(0211)1667128 Fax.(0211)350846

第212号 1995年8月号 高木商会出版部発行 DM2.50

## ヨーロッパ街巡り・25 (最終回) ZÜRICH (スイス)



写真提供/スイス政府観光局

### プロローグ

その風光明媚なイメージから日本人に人気の国、スイス。四〇〇〇メートル級の山々が連なるスイス・アルプスは、名前こそ同じでも日本のアルプスとは比べものにならないスケールをもつ。

海のないスイスの最低点は南端のマッジョレ湖の一九三メートル。最高点はイタリア国境にあるモンテ・ローザの四六三四メートル。その差は四四四一メートルと非常に

起伏に富んだ国土を有する。その象徴が言語で、国内では独、仏、伊、ロマンシュ語の四カ国語が公用語とされている。もちろんここでは文化も風土も、そして祖先さえもちがってくる。

起るのがスイスの魅力でもある。その象徴が言語で、国内では独、仏、伊、ロマンシュ語の四カ国語が公用語とされている。もちろんここでは文化も風土も、そして祖先さえもちがってくる。

### 街の歴史

スイス最大の都市として君臨するのがチューリヒだ。人口三十六万人と、第二の都市バーゼルに比べて二倍の人口を抱えている。ここは、経済、商業、文化などあらゆる面においてスイスの中心的な存在でありながら、チューリヒ湖とリマト川の傍らにたたずむ緑あふれる街だ。

時代をさかのぼれば、チュ

### 街の眼と心

街の見どころはリマト川を挟んだ旧市街に広がる。そこには緩やかな斜面に中世の町並みが広がり、そこをかつてはギルド商人が闊歩し、タダイスムを熱く語る前衛アーティストが集まった。

左岸には、ヨーロッパ最大の文字盤をもつサンクト・ペーター教会と、九世紀に尼僧院として建てられたフラウミユンスタールがある。青緑色の尖塔が目印のこの教会には、当時八十四歳のシヤガールが、聖書の世界をもとに制作したステンダグラスがあり、その名にふさわしい雰囲気をかもしだしている。

川の右岸にはツヴィンクリが説教したこと知られる大寺院があり、そのロマネスク様式の建築はスイス最大のものといわれている。

街にはそのほかにも市立美術館や国立博物館、そしてさらに十八世紀からのおもちゃを集めた博物館や、日本の浮世絵など東洋の美術品を展示しているリートベルク博物館などがある。

### 他の面から

- 【ヨーロッパの顔】レナート・ルジェロ WTO事務局長……………(2面)
- 【時の話題】EU首脳会議が東欧の加盟促す……………(3面)
- 【ヨーロッパ人物伝】スザンナ・ツァッヘルト夫人……………(5面)
- 【パリ発】国有財産公開の日・パリ市庁舎、ほか……………(6・7面)
- 【連載】ドイツ人の使徒・聖ポニファチウス伝……………(8面)
- 【連載】フラウエンノ フラウエンノ歴史上の女たち……………(10面)
- 【連載】インターナショナル フローラルデザイン……………(11面)

●日本のお客様に喜ばれる  
**大都会 ランチ**

●ドイツのお客様に大好評  
**DAICOKAI デイナー**

レストラン **大都会**

◆フランクフルト 4990021 ◆デュッセルドルフ 325054  
 ◆ケルン 120048 ◆ミュンヘン 2711421  
 ◆ベルリン 2618099

街の顔/チューリヒに春の訪れを告げる「ゼクセロイテン」は、復活祭後の月曜日に行われる。チューリヒ湖畔六カ所に用意された薪の上に、ベークと呼ばれる雪男を模した張り子が立てられ、一斉に焼かれる。冬に別れを告げる火祭りでもある。

「ヨーロッパの暮らし」休刊のお知らせ

十八年間にわたり在欧邦人のみなさまに『生活に役立つ情報紙』としてご愛読頂いて参りました『ヨーロッパの暮らし』は、今号をもって休刊とさせていただきます。長い間のご支援、ご愛読、誠にありがとうございます。ごさいました。スポンサーをはじめ、時事通信社、海外新聞普及(株)、また執筆者の方がたにも心より感謝申し上げます。また新たな形で、みなさまにお目にかかることを祈念しております。

発行人  
 高木商会 高木 常治郎

一人ひとりに合わせる…  
 メガネとコンタクトレンズ



メガネの **パリーミキ**

デュッセルドルフ店  
 Königstraße 9  
 40212 Düsseldorf  
 Telefon (0211) 32 01 58

ベルリン店  
 Fasanenstraße 73  
 10719 Berlin  
 Telefon (030) 8 82 44 42

日本の住まいに関する日本語コール  
**0049-211-350186**  
 (はじめ4桁が、オランダ、ベルギー、ルクセンブルグからは0049、フランスからは1949)

●帰国後の住まいづくり  
 ●外国に居ながらにしての住まいづくり  
 ●その他、日本の住まいづくりの最新情報

積水ドイツランドバウ社と日本の積水ハウスが協力し、あなたの日本での住まいの計画をトータルにバックアップ。よりお気軽にご相談いただけ、よりきめ細かに対応いたします。

日本語だから、スムーズ。積水ハウスだから、安心。

**積水ドイツランドバウ社** TEL:0211-350186/350187 FAX:0211-350189  
 Friedrich-Ebert-Strasse 1 40210 Duesseldorf F.R.Germany 担当/伊藤・鈴木・末武

ヨーロッパの顔

レナート・ルジエロ RUGGIERO WTO 事務局長

世界貿易機関の初代事務局長に 主要国の一致で就任

二国間ではなかなか解決しきれない貿易紛争の多発が今後とも予想される中で、世界貿易機関(WTO)の紛争処理能力に対する期待がより一層高まっている。このいわば世界貿易をつかさどる国際機関のトップの座に現在就いているのがイタリア元貿易相のレナート・ルジエロ氏だ。

ナポリ大学法学部を卒業後、一九五五年に外務省に入省。ルジエロ氏はキャリアの大半をイタリア外交にささげ、サンパウロ、モスクワ、ワシントン、ベオグラド勤務などを経て、六九年には欧州委員会官房長に就任。その後、同委員で英国の欧州共同体(E.C.)加盟問題などを手掛けた。

事務局長選出レースでは当初、米国や南米諸国がサリナス前メキシコ大統領を、韓国や日本などアジア諸国が金連寿・前韓国商工相を、欧州連合(EU)がルジエロ氏を推し、地域別による三つどもえの争いとなった。ただその後二月末に、サリナス氏が国内のスキヤンダルに絡んで立候補を取り下げたことから、ルジエロ氏と金氏の一騎打ちとなった。

以後繰り返す「自動車・部品問題」は、日米の二国間で解決してほしい」と述べ、WTOの紛争処理機関への過大な期待を戒めていた。いわば難しい紛争を処理するために創設された国際機関のトップがこうした発言を繰り返していたことは何とも無責任な態度とも取れるが、こうした発言は裏を返せば現時点でのWTOの紛争処理機能の限界を如実に示したもので、今後さらにWTOの紛争処理機能の新たな役割についてな



「ロッキー」の異名をとるルジエロWTO事務局長

欧州の動き

95年6月-7月

六月十五日「ギリシャ各地でマグニチュード6.3の地震が発生し、十数人が死亡、百人以上が負傷した。」

六月十八日「ボスニア・ヘルツェゴビナのセルビア人勢力が、人質として最後まで拘束していた国連防護軍要員二十六人を解放した。」

六月二十二日「五月のベルギー総選挙を受け、第二次デハネ内閣が発足した。国防相にはワトレ法相が横滑りしたが、テレク外相やメイスタット蔵相ら多くの主要閣僚が留任した。」

六月十五日「ボスニア・ヘルツェゴビナのセルビア人勢力議会が、クロアチアのセルビア人勢力「共和国」との統一を賛成多数で承認した。」

六月二十三日「五月のベルギー総選挙を受け、第二次デハネ内閣が発足した。国防相にはワトレ法相が横滑りしたが、テレク外相やメイスタット蔵相ら多くの主要閣僚が留任した。」

七月一日「ボスニア・ヘルツェゴビナの首都サラエボに、セルビア人勢力による砲撃が撃ち込まれ、ボスニア保健省によると、十二人が死亡、六十七人が負傷した。」

六月十五日「現職議員の死去に伴う英下院の補欠選挙が、英領北アイルランドで行われ、同地の英国への帰属を求める独立系候補のロバート・マカートニー氏が当選した。」

六月二十八日「ボスニア・ヘルツェゴビナの首都サラエボ西部にあるテレビ局の建物とアパートに、相次いでロケット砲撃があり、計五人が死亡した。」

七月四日「メージャー英首相の保守党首辞任に伴う党首選挙の実施が実施され、開票の結果、メージャー首相が対立候補のレッドウッド前ウエールズ相を破って再選を果たした。これを受けて同首相は五日、大幅な内閣改造を行い、新外相には右派寄りのリフキン国防相を任命した。」

Advertisement for Nippon Express featuring cartoon characters and contact information for various international branches.

時々の話題

# EU首脳会議が東欧の加盟促す

## EUは今後も加盟国拡大路線を堅持

フランスのカンヌで六月二十六、二十七日の両日開催された欧州連合(EU)首脳会議は、将来のEU加盟国拡大を促進するための条件整備を一層進めるよう求めて閉幕した。EU加盟協定を結んでいる東欧六カ国(ポーランド、ハンガリー、チェコ、スロバキア、ブルガリア、ルーマニア)の正式加盟に道を開いた前回のドイト・エッセン首脳会議を受けたもので、EUは今後も拡大路線を堅持していくことを再確認した。

## 経済格差が埋まらず東欧加盟は難行

しかし、共産主義政権下にあった東欧諸国は、今年一月にEUに加盟したオーストリアなどに比べるとEU域内の経済格差は依然として大きく、法律上の整備や規制緩和、民営化などといった市場経済への移行計画は停滞しているのが現状だ。このため東欧諸国などをEU市場統合に取り込むまでの交渉は、法律上の調整や経済格差の縮小など条件整備の面で難航が予想され、これら諸国のEU正式加盟にはまだかなりの時間がかかりそうだ。

スロバキアのメチアル首相は二十七日、EU首脳会議の場で、EUへの加盟を申請した。EUとの間で欧州協定(準加盟協定)を結んでいる東欧六カ国では、ポーランド、ハンガリーが一九九四年四月に、ルーマニアが六月にそれぞれ加盟申請している。このほか、キプロスやマルタ、トルコも加盟申請している。ポーランドやハンガリーな

の、東欧諸国に近い将来西諸国に追いつくと現段階で想定することはできないとの見解を示した。RWIによると、昨年の東欧の優良国(ポーランド、チェコ、スロバキア、ハンガリー)は、西欧の伸び率約二%を上回る四・五%だった。しかし、たとえこの程度の伸び率で東欧諸国が今後成長し続けたとしても、東欧諸国が欧州連合(EU)の一人当たり所得水準に達するには五十年以上の長い年月がかかる見込みだといふ。報告によると、昨年の東欧諸国の一人当たりの所得は米



6月、仏・カンヌで開かれたEU首脳会議

ドル換算でEU諸国の一人当たりの所得の一五%にすぎなかった。購買力平価でも、EU水準の約三〇%だったといふ。途上国支援に関する資金配分は決着

RWIは、もし東欧諸国が早期にEUとの経済格差の縮小を図ろうとするならば、東欧諸国のGDP伸び率が東南アジアや東ドイツの伸び率と同様の水準に達する必要があるだろうと分析した。前回のエッセン首脳会議では、東欧諸国が将来EUに加盟できることを確認した上で、同諸国との加盟交渉はマーストリヒト条約(欧州連合条約)の見直しに関する政府間協議を行う一九九六年以降に開始する意向を表明した。また、東欧諸国のEU加盟準備の戦略として、①首脳や閣僚レベルの定期協議などを通じた政治対話の促進、②EU域内市場に統合するための短期、中期的な方策、③経済支援の強化などを打ち出した。さらに、エッセン首脳会議は加盟準備の手始めとして、欧州委員会に対し商法や競争法といった法律整備や規制緩和など

の条件をまとめた「白書」を来年六月までに作成するよう指示した。今回のカンヌ首脳会議では途上国支援問題が話し合われ、中・東欧諸国と北アフリカなど地中海諸国への資金配分問題で決着。今後五年間で中・東欧には約六十七億ECU(欧州通貨単位、1ECU約百二十四円)、地中海諸国には約四十七億ECU援助すること基本合意した。

議長総括に盛り込まれたEUの展望。今首脳会議が採択した議長総括は、EU拡大構想確認のほか、新規雇用の拡大、一九九九年の通貨統合実施を確認、米国との新たな関係強化の推進などを盛り込んだ。新規雇用の拡大については、①加盟国が労働市場の構造改革を推進する、②加盟国間の経済・構造政策の協調を通じた、相互効果を増幅する、③雇用回復のため安定的な金融・財政政策を実施する、④財政赤字の前減を図るとともに、金利低下、投資促進などの政策を推進するなどを打ち出した。通貨統合については、マーストリヒト条約に規定されたコンバージェンス(経済の均質化)の条件、日程、手続きに従い、遅くとも一九九九年一月一日までに単一通貨へ移行する準備を進める固い決意を表明した。米国とEUとの新たな関係強化については米政府、欧州

委員会それぞれから積極的な推進論が出ており、首脳会議はこれを歓迎すると総括に明記した。また、今年六月までに最終合意する予定だった国際テロなどに対処する欧州警察機構(ユーロポール)の設立条約については、国家主権の維持を主張する英国の反対によって最終合意には至らなかったが、今後も設立条約の締結に向けて協議を続けていくことで合意した。ロシアとの関係では、チェンチェン情勢に改善の兆しが見られるとしてEUとロシアとの「暫定経済協定」を近く調印する方向でほぼ意見がまとまった。また、クロアチアとの貿易・協力協定締結交渉を開始することも合意した。

### ドイツ人から見た日本人

アンドレアス・メツケル  
(日独経済促進事務所長)

筆者自身の日本語の能力は人を超えるほどのものではないので、筆者もまたさまざまな機会に、日本語からドイツ語に、あるいはドイツ語から日本語に訳してくれる人のお世話になっている。「JAPAN magazine」誌にドイツ語で、また本紙「ヨーロッパの暮らし」に日本語で同時に現れるこのコラムにしてもそうである。翻訳するということがいかに難しいか、筆者もこれまでの経験でよく分かっているつもりである。

ドイツ語の「Übersetzen」(翻訳すること)という単語には本来「船で渡す」という意味があり、それに当てはめれば、翻訳という作業はひとつの言語風土から別の言語風土へ渡り、船が転覆する危険はつねに存在しているといえよう。筆者もまたこの多分に漏れず、通訳や翻訳する人たちに、いつも大きな負担をかけてきたと思う。ながながと続く文や

### 翻訳

特殊な用語、あるいは同時通訳のときの速度を加減しない話し方などは、特に日本語とドイツ語を扱う翻訳をより困難にするものであり、翻訳業に携わる人が絶望的になることも稀ではない。

もちろん翻訳や通訳をしたという人の中には、全くのところ荷が重すぎる人もいて、独文学専攻の日本人の学生とか、あるいは日本語専攻のドイツ人の学生が、企業視察の専門的な通訳をうまくこなせるとしたら、それは例外といわねばならない。

それとは反対に、優秀な通訳や翻訳家はその仕事に対して十分に感謝されたり、正当な評価を受けたりすることが、あまりにも少なすぎるといえる。それどころか、例えば長い日本語の口述のあとで、通訳がそれをドイツ語で読んだら、その文章に訳したり、その逆で短い日本語をながながとドイツ語に訳したりすると、ドイツ人はすぐに不信の念を抱

最終号の紙面をお借りして、私のコラムをご愛読くださった読者のみなさまに心から感謝申し上げます、お別れのごあいさつとさせていただきます。

いつも生きた味をおとどけします。

あかみく

寿司と和食の店・喜かく

**KIKAKU**

ITO Restaurant GmbH

Klosterstr 38 40211 Düsseldorf Deutschland  
Tel. (0211) 357853

日本館 レストラン

1階：純日本料理・すし・天ぷら  
2階：和風パブ・軽食

レーザーカラオケ・常時新着盤を揃えております。  
各種パーティーに御気軽にご利用ください。

Düsseldorf Immermannstr 35 ☎(0211)353135

連日、新発売。



# NEWS

政治、経済、スポーツ……記事を追い、ページをめくる朝のひととき、あなたは自分が我が家に帰ってきた錯覚におちいるかもしれません。ヨーロッパにしながら、日本と同じ日付の新聞を読める幸せを今朝も。ジャパントイムのニューズペーパー、朝日新聞国際衛星版があなたと日本をつなぎます。

## 朝日新聞

## 日刊スポーツ



購読料

ASAHI SHIMBUN INTERNATIONAL, LTD 10 CHARTERHOUSE SQUARE.  
LONDON EC1M 6DT TEL: 0171-334-0909 FAX: 0171-334-0906  
OCS DÜSSELDORF % T. TAKAGI G.M.B.H IMMERMANN STRASSE 31.40210  
DÜSSELDORF TEL: 0211-17206-16~17 FAX: 0211-369391  
OCS HAMBURG HEIDENKAMP SWEG 84.20097 HAMBURG 1 TEL: 040-231875 FAX: 040-230632  
OCS FRANKFURT GROSSE GALLUSSTRASSE 1-7 60311 FRANKFURT  
AM MAIN 1 TEL: 069-294047 FAX: 069-281198

朝日新聞	日刊スポーツ
配達地域 DM187	全地域 DM135
郵送地域 DM200	朝日と併読DM95
(1部1ヵ月)	

特別寄稿

デュッセルドルフ在勤を振り返って

在デュッセルドルフ総領事 稲川照芳

この度、外務本省で新たな仕事に就くため、帰国することになりました。

デュッセルドルフ市長はじめ、各界の方がたに離任のあいさつをしましたが、いずれの方がたも在留邦人の方がたの活躍と地元社会への貢献を讃えておられました。これは日ごろの経済、文化活動を通じての地元社会への貢献と交流や、特に、九三年に行われた「デュッセルドルフ日本週間」、『NRW州日本年』、そしてそのハイライトであった天皇・皇后両陛下のベテテル、デュッセルドルフご訪問などを通してのみなさまのご協力を念頭に置いたものだと思います。

この三年間、一時外国人への暴力が起り、在留邦人の方がたの安全への心配をしたり、また今年一月の阪神・淡路大震災の際に「日本が誤った誇りから外国の援助を拒否した」との報道がなされたときは懸念をしたこともありましたが、総じて、楽しい、また感動した思い出をもつことができました。

例えば、天皇・皇后両陛下が、ベテテルの複合障害児施設をご訪問され、親しく、優しく患者の方がたの手を取り語りかけられる様子は感動的でした。またラウ首相が、日本人とドイツ人が一緒にあって、トーン・ハレで両陛下をお迎えしてのコンサートを開こうと、約千名の邦人の方がたをNRW社会を代表する方がたと共に招待してくださり、私はラウ首相のご配慮に深く感謝しました。

「日本週間」では百二十五に上る行事がありました。それを在留邦人の方がたが見事な組織ぶりでもり切られたのには感嘆しました。あの三カ月間はドイツ人と日本人の一体感が至るところで見られました。最近で最も感動したことは、



稲川照芳

代表して犠牲者へのお悔やみと、関係者へのお見舞いの言葉を贈ってくれました。また、日本人音楽家たちの発意で、トーン・ハレでチャリティー・コンサートが、またその後、オペラ座でチャリティー・ミュージカルが開かれたのも市の全面的協力があって初めて可能でした。私たち日本人が真の意味で国際社会の一員となつていくことを感じました。他方、日本の方がたがもっとドイツの方がたと親しくお付き合いをして欲しいとの希望もドイツの方から聞きました。

連載 改羅巴人物伝

6

スザンナ・ツァツヘルト夫人(87歳)

自宅を開放し、ドイツの家庭料理や生活習慣を紹介し、ときにはドイツ語に不慣れな日本人女性に付き添って病院へ行くなど、陰ながら在留日本人女性の手助けをしてきた夫人に、幼年時代の思い出などを伺った。

今年八十七歳を迎えたスザンナ・ツァツヘルト夫人は、その小柄な体の中にそんなパワーがあるのかと思わせるほど意欲的に、日独女性間の橋渡し役を務めている。

「四十年ほど前は、ご主人の仕事の都合でドイツへいらつしやる日本の奥様方のほとんどが控えめな方ばかりでした。私はそういう方がたに少しでもドイツのよき、また生活習慣や文化を知ってもらいたいと思ひ、当初は婦人クラブなどを通して交流活動を始めました。その中で料理教室を開いたり、老人ホームや障害児施設など、普段観光では見られない施設をみなさんと一緒に見学して参りました」

フラが整備されて、場合によっては日本語で十分生活できる状況になりました。しかし、せっかくなので機会をのぞき、ドイツ語を通して、ドイツの歴史、文化、社会、生活を十分に学び、ドイツでの生活の内容を豊かにしていただきたい、というのが、私の在留邦人のみなさまへのお願いです。私も、NRWでたくさんの方の友人を得ました。友人をもつことは人生にとって宝です。若いころから三十年余かけてドイツ語に親しんできたことが、どんなにか自分の生活を豊かにしてくれただかをかみしめています。

最後に、在留邦人のみなさまに、公私あらゆる面でお世話になったことに心から感謝申し上げると共に、みなさまのご健康とご活躍を心から祈念いたします。



スザンナ・ツァツヘルト夫人

三人の子どもを育て上げ、すでに曾孫もいる夫人は、料理の腕もかなりのもの。これまで、日本人主婦を対象にした自宅を開放し、さまざまなドイツの家庭料理の講習会を開いてきた。中でも近ごろでは、ドイツ人家庭でもめつたに作らなくなったパームクーヘンは、人気の一品だ。ボンやケルン辺りでは、ツァツヘルト夫人のパームクーヘンとしてちょっとした存在でもあるとか。

「一番うれいなのは、私が教えた方がたが、日本やほかの国でまたパームクーヘンを作ってくれることね。中には日本を経由してロンドンのパザーでパームクーヘンを作ったら、あつたという間に売れてしまふ方がいて、連絡をくださる方がいて、そんなことを聞くのが本当にうれいなるの。役に立つて、そして使ってくださいることが一番うれいことです」

「戦後は家族揃ってドイツに強制送還され、ベルリン、ボンとで生活してきました。いまは末娘が近くに住むケルンに落ち着いています」

現在夫人は、ケルン郊外の閑静な住宅街に一人暮らし。平日は仕事をもち娘さんの一人息子の面倒を見、ときには一緒に水泳へも出かける。そして買い物も重い物以外は、極力自分で済ませます。

家族の写真や日本での思い出の品に囲まれた部屋で夫人は語る。

「もちろん、おとなしく老人らしくじつとしていて毎日もしてみたいけれど(笑)、できないの。いつも何かしなくちゃと思つていて、自分ができることは自分で済ませます。一人でいるから、シャワー(残念)と思うんじやなくて、その時間何ができるかを考えるの。手紙を書いたり、音楽を聴いたり、本を読んだり。そう、日曜日にはよくパームクーヘンを焼きます。オーブンの前で新聞片手にじつじつ焼くと、新聞の初めから終わりまで読み終えるころには、ちょうどパームクーヘンもでき上がります。パームクーヘンは冷凍して、お客様が来たときのお土産にもなりますよ」

夫人にいわせれば、時間は過ぎずものではなく、使うものだといふ。

現在でもときには自宅を開放して、日本人女性のための料理講習会を開き、そこで知り合った人たちを招いてのお茶会も催す。そんなときの話は、日本やドイツのことから身の回りのことまで限りなく広がる。そして、だれもが夫人の前では飾り立てることなく、自然に振る舞っていることに気づく。そう、まるで母親の前でのよう。

「ママが亡くなってからは、日本の親族との付き合いは全くありません。でも、ここで知り合った多くの日本人の方がたが私のかわいい娘ね」と笑うツァツヘルト夫人。

娘たちはきっと、日本で、またはそれ以外の国で、かつて住んだドイツを思い出すとき、「ドイツの母」にも思いを馳せずにはいられないだろう。

健康を保つにはポジティブな考え方が大切と語るツァツヘルト夫人

一九〇八年、貿易商を営む父の仕事先、朝鮮の仁川で生まれた夫人は、兄弟姉妹に囲まれ恵まれた幼年時代を過ごした。

父親とはドイツ語、母親とは日本語で会話をし、朝食には洋食を、そして夕食にはご飯とみそ汁を食べるのが常だったという。

国際結婚のまだまだ少なかった時代、若くしてドイツ人と結婚した母親は、特にしつげには厳しい人だったという。

「日本人の母親だからしつげが悪い」といわれたくないからと、厳しく育てられましたが、ママは、まだ外国人との結婚をよく思わない考えが日本にあったにもかかわらず、

パパを人生のパートナーに選んだのだから、日本に未練はないと言いつける強い人でした。それに、私たちが子どもには決して苦勞を見せなかつた、これって日本人らしいことかもしれないわね」

そんな母親の血を引いてか、ツァツヘルト家の女性は決して弱音を吐かないという。それも女だけというところがおもしろい。

第一次世界大戦後、夫人は弟と共にドイツの学校に通うため、ハンブルクの叔母のもとに預けられる。やがてドイツでの生活にも慣れ、大学では教師になることを目的に、哲学、教育学を専攻。しかし最終的には日本学に専攻を絞り、そこで将来のパートナーと知り合った。

「まだ日本学を専攻する学生は少なくて、大学全部でも七八人つてところかしら。その中で主人は、ベルリンのフンボルト大学から博士論文を書くために私たちの学校に来ていたんです」

主人は、私が遅刻するたびにそれを注意するんです。それも毎回(笑)。最初はおかしな人という印象だったんだけど、それをきっかけに仲良くなっていきました」

すでに十六年前に亡くなった主人の故郷(ベルリン)に、ツァツヘルト氏は、ボン大学に日本学を創設し、ベルリンやボンに独日協会も設立した、日本でもその名を知られた人だ。

「大学卒業と同時に結婚。その後、すぐに主人が日本の旧制松本高等学校のドイツ語教師として赴任することになり、二人で日本に船で渡りました」

日本では松本、横浜で長く暮らし、日本語になんら不自由のなかつた二人は、ここで多くの知己を得ると共に二人の子どもにも恵まれる。

そして日本での生活に馴染んだころ、第二次世界大戦が始まる。疎開を経験するなど、外国人という制約が強い生活にも数かずの制約が強い生活にちがいない。しかし、

当時を振り返る夫人からは、ひとつも苦勞やつらかつた思い出は出てこない。これも日本人の母親から受けついでたものなのだろうか。

「戦後は家族揃ってドイツに強制送還され、ベルリン、ボンとで生活してきました。いまは末娘が近くに住むケルンに落ち着いています」

現在夫人は、ケルン郊外の閑静な住宅街に一人暮らし。平日は仕事をもち娘さんの一人息子の面倒を見、ときには一緒に水泳へも出かける。そして買い物も重い物以外は、極力自分で済ませます。

家族の写真や日本での思い出の品に囲まれた部屋で夫人は語る。

「もちろん、おとなしく老人らしくじつとしていて毎日もしてみたいけれど(笑)、できないの。いつも何かしなくちゃと思つていて、自分ができることは自分で済ませます。一人でいるから、シャワー(残念)と思うんじやなくて、その時間何ができるかを考えるの。手紙を書いたり、音楽を聴いたり、本を読んだり。そう、日曜日にはよくパームクーヘンを焼きます。オーブンの前で新聞片手にじつじつ焼くと、新聞の初めから終わりまで読み終えるころには、ちょうどパームクーヘンもでき上がります。パームクーヘンは冷凍して、お客様が来たときのお土産にもなりますよ」

夫人にいわせれば、時間は過ぎずものではなく、使うものだといふ。

現在でもときには自宅を開放して、日本人女性のための料理講習会を開き、そこで知り合った人たちを招いてのお茶会も催す。そんなときの話は、日本やドイツのことから身の回りのことまで限りなく広がる。そして、だれもが夫人の前では飾り立てることなく、自然に振る舞っていることに気づく。そう、まるで母親の前でのよう。

「ママが亡くなってからは、日本の親族との付き合いは全くありません。でも、ここで知り合った多くの日本人の方がたが私のかわいい娘ね」と笑うツァツヘルト夫人。

娘たちはきっと、日本で、またはそれ以外の国で、かつて住んだドイツを思い出すとき、「ドイツの母」にも思いを馳せずにはいられないだろう。

「戦後は家族揃ってドイツに強制送還され、ベルリン、ボンとで生活してきました。いまは末娘が近くに住むケルンに落ち着いています」

現在夫人は、ケルン郊外の閑静な住宅街に一人暮らし。平日は仕事をもち娘さんの一人息子の面倒を見、ときには一緒に水泳へも出かける。そして買い物も重い物以外は、極力自分で済ませます。

家族の写真や日本での思い出の品に囲まれた部屋で夫人は語る。

「もちろん、おとなしく老人らしくじつとしていて毎日もしてみたいけれど(笑)、できないの。いつも何かしなくちゃと思つていて、自分ができることは自分で済ませます。一人でいるから、シャワー(残念)と思うんじやなくて、その時間何ができるかを考えるの。手紙を書いたり、音楽を聴いたり、本を読んだり。そう、日曜日にはよくパームクーヘンを焼きます。オーブンの前で新聞片手にじつじつ焼くと、新聞の初めから終わりまで読み終えるころには、ちょうどパームクーヘンもでき上がります。パームクーヘンは冷凍して、お客様が来たときのお土産にもなりますよ」

夫人にいわせれば、時間は過ぎずものではなく、使うものだといふ。

現在でもときには自宅を開放して、日本人女性のための料理講習会を開き、そこで知り合った人たちを招いてのお茶会も催す。そんなときの話は、日本やドイツのことから身の回りのことまで限りなく広がる。そして、だれもが夫人の前では飾り立てることなく、自然に振る舞っていることに気づく。そう、まるで母親の前でのよう。

「ママが亡くなってからは、日本の親族との付き合いは全くありません。でも、ここで知り合った多くの日本人の方がたが私のかわいい娘ね」と笑うツァツヘルト夫人。

娘たちはきっと、日本で、またはそれ以外の国で、かつて住んだドイツを思い出すとき、「ドイツの母」にも思いを馳せずにはいられないだろう。

OCSが衛星版を毎朝お手もとへ!

ヨーロッパでアメリカで、日本国内と変わらない時間に、故国の新聞が読める時代です。東京で編集された紙面が即時に通信衛星で送られ、現地で印刷するシステムが、このスピードアップを可能にしました。そして、ロンドンでニューヨークで印刷されたばかりの新聞をみなさまのお手もとにお届けしているのが、OCSなのです。日本国内の新聞戸別配達制度は、世界一整備されているといわれています。海外でも全く同じになりました。OCSがお届けする毎朝の新聞で、さまざまな故国の情報をお楽しみください。

衛星版のほかに、OCSは日本国内発行の、あらゆる新聞・定期刊行物・書籍を、みなさまのお求めにより、航空輸送で迅速確実にお届けしています。



# もう一つのパリの顔 パリの公園 4

## モンヌーリ公園

パリ十四区の南端に大学都市がある。広大で緑豊かな敷地に、世界各国が留学生のために建てた会館が点在し、学生や研究者たちの国際色も多彩な別世界ともいえよう。この大都市と大通りを隔てて向かい合い、しかしそれよりは狭いのがモンヌーリ公園で、モンヌーリ公園と同様、第二帝政期にオスマン男爵の強引な改訂計画によって生まれた。

着工は一八六八年、十年後に完成を見た十六ヘクタールの英国式回遊庭園である。この公園、RER(都市高速鉄道網)の線路と大学都市駅によって二分されている。線路

の下をくぐる道をプラットホームを見下ろす二本の橋で往き来できる。気象観測天文台のある西側の部分より人びとが好むのは、人工湖のある東側の部分で、湖に遊ぶ水鳥の種類も多く、春から夏にかけて小さな鳥たちの愛らしい姿も見られる。亭々と大きく枝をひろげるマロニエ、プラタナス、レバノン杉、白樺、松、パリ市中にありながら存続し森浴もできようし、リュクサンブール庭園のように四季を通じてジョギングの人びとも絶えない。

公園の東端には優雅なレストラン「ル・パヴィヨン・モンヌーリ」がある。メニュー

をのぞくと魚料理はまぐろ・かれい・鮭肉料理はうなぎ・小羊・鴨・鳩と多彩である。アンドレ・シトロエン公園



松木立と花壇。そして兵士の碑銘(モンヌーリ公園)



春にはひなたちの姿も見かける(モンヌーリ公園)



大温室の前の噴水(アンドレ・シトロエン公園)



園内には竹やぶもある(アンドレ・シトロエン公園)



インコたちが並ぶ(ラ・メジスリ)

シトロエンといえ、古い歴史をもつ自動車会社である。元来は砲弾を製造する会社であったという。パリ十五区のジャヴェル河岸に一日二万個生産可能な工場を作ったのが一九一五年、第一次大戦中のことであった。が、先を見る目をもつていたというべきか、シトロエン(一八七八ー一九三五)は軍需産業の将来を危ぶみ休戦と同時に転身を考え、大衆車の大量生産というはるか時代に先んじて道を歩み始めたのである。

第一号の車は一九一九年に生まれた。飛行機やエッフェル塔を利用した広告で話題となり、三一年にはシトロエン自身が参加して、自社のジープでペイルートから北京までゴビ砂漠踏破の偉業をなしとげた。シトロエンの没後も発展を続けたシトロエンであったが、八二年秋にこの河岸を去って郊外に移転、パリ市はその跡地を公園にして市民に提供した。

いままでの公園とはだいぶ趣を変えて幾何学的な構成、あちこちで水が涼しげな音を立てる。巨大な温室の間の噴水は高く低く変化し、突然パツパツ止まるかと思えばまた急に噴き上げる。夏の盛りには水着姿の子どもたちが、キヤーカーや叫びながらその間を駆けまわっていた。

陽光に照らされ、桜、楓、花すおうが整然とならび、金色の庭、銀色の庭、オレンジ色の庭、ブルーの庭などと葉や花の色で分けられた庭の区切りには、段をなして水が流れ落ちる。

竹や笹がふんだんに植えられてさやかと風は鳴るのも、パリの公園としては珍しい。去年の夏は竹の展示会を一期でやっていて、孟宗竹(もうそうちく)や隈笹(くまざさ)や、葉平竹(なりひらだけ)、おかめ笹、琉球竹(ちゅうきゅうたけ)など、甲竹(きつこうちく)などずらりと鉢が並び、竹はマイナス二〇度まで耐えられること、孟宗は二十八メートルにも及ぶことを学んだ。

公園内には竹やぶもある(アンドレ・シトロエン公園)

陽光に照らされ、桜、楓、花すおうが整然とならび、金色の庭、銀色の庭、オレンジ色の庭、ブルーの庭などと葉や花の色で分けられた庭の区切りには、段をなして水が流れ落ちる。

矮小のコスモスや矢車草が咲く草むら歩き回ることができ、広大な芝生はかけ回るも寝ころぶも自由、よそとはだいぶ趣が違う。



中でも人目を引くのは孔雀の姿(ラ・メジスリ)

ラ・メジスリ河岸 さてここで、公園とは全く関係ないけれど、おもしろい散策の場としてメジスリ河岸をご紹介します。おもしろいといっても、植木やペット類に関心があれば、パリ最古の橋として知られるボン・ヌフからシャトトレ広場までの間の河岸は、ラ・メジスリと呼ぶれるが、ここは昔から動物物を商う店が立ち並んでいる。桜やバラ、あじさいもあれば、梨やベリー類の木もあり、草花の鉢にハーブ類の苗、種子、球根が歩道に所狭しと置かれ、店内には鉢や土、肥料それに蘭の鉢、その隣では小犬がキャンキャン鳴きたてるし、とんでもない時間に鶏がとぎをまき、みどり亀が眠りをむさぼり、金魚や熱帯魚が涼しげに泳ぐ。ミンクを見かけたこともあったが、最近ではチンチラがはやりらしい。フランス語でシャシラ、やわらかな灰色で六百フラン前後、子どもの遊び相手によく書かれていたが、コートを作るには何十匹要ることか。

白鳥や孔雀が食用のホロロ鳥などに交じって売りに出ていることもある。シラクのようにお城でも持っていれば、広大な庭に放すのもよからう。孔雀の成鳥がつがいで三千八百フラン、眺めているとうしろで「三千八百フラン」と驚きの声が上がると、ふりかえってその女子学生の顔をまじまじと見てしまった。高いというのだろうか。日本で犬が何百万円で取り引きされ、殺人事件まで起こっていることか。

大相撲の来日は九年ぶりである。前回もたまたまた大セシオンはいまだに後を引いて、パリでは時折ボスターに小錦の姿を見かけたりもする。競走馬にスモートリとい

う名があらわれたときは苦笑したものだ。今回は曙、貴乃花の両横綱以下四十名が六名の行司とともに大挙して訪れるわけで、総量何トンになることか。十月十三、十四、十五日の三日間(金・土は二十時から、日曜は十四時から)で、前売りはすでに六月から始まっている(千フラン以上フラン)。この公演はジャック・シラクの後援を受けており、大統領の相撲好きはつとに知られるところである。もともと、フランス大統領が相撲ファンであることより、核実験を強行しないことの方が日本人にとつても、全人類にとつてもはるかに大切なことのはずであるが。



横綱 貴乃花

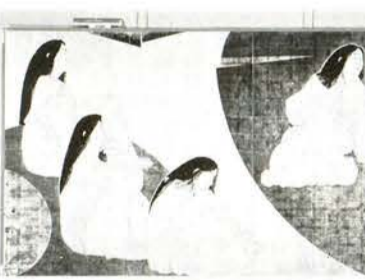
永らくご愛読いただき感謝にたえません。またどこかでお目にかかる日を楽しみにしております。水原冬美

## 中島千波日本画展

ちなみ

人間国宝展以来入場者がぐんと増えた三越エトワールでは、九月十九日から十一月二十五日まで中島千波日本画展を開く。

フジヤマ、ゲイシャの日本画とは一味違う個性的な表現に期待したい。(3, rue de Tivoli) 日曜祭日休館。十時 十八時。



題「眠空」

●お詫びと訂正  
六月号記事のキュリー夫人のポーランド名は、マニア・

スクロドフスカでした。謹んで訂正いたします。

**TORAYA**

日本のおもてなし  
そのままパリで...

四季の和菓子を取り揃えております。  
ティー・ルームもご利用下さいませ。  
また、配送も承っておりますのでお申し付け下さい。

10, Rue Saint-Florentin-75001 PARIS FRANCE  
Tel:(1)42.60.13.00 Fax:(1)42.61.59.53  
(コンコルド広場近く)

とらや  
東京・京都・パリ・ニューヨーク



ボニファチウスの殉教 (754年6月5日)

# ドイツ人の使徒

## ～聖ボニファチウス伝～

藤原 三千男



**最後の十年間 (七四四—七五四年)**

ここで、ボニファチウスの名と切っても切れない町、フルダについて記すことにしよう。

フルダ進出の計画を打ち出したのはボニファチウスであったが、ここに教会を建て、修道院を始めたのは彼の弟子でシトルミという人であった。彼はバイエルン出身の地主の息子で、師がかの地で活動していたころ知り合いになつたと思われる。後日、師に

ついてヘッセンへ来てフリッラーの修道院学校で学んでいたが、ある日突然、隠遁者の生活をしたと、数人の徒者と共に修道院を去る。ボニファチウスはこれを許し、修道士たちは森の中に小屋を建てて生活を始めた。これがヘルスフェルト修道院の初めである。

しかしそこはザクセンの地にあまり近く、生命の危険が多すぎるというボニファチウスの判断により、フルダ河をさらに上流に行った地域を探索するよう命が下された。幸いアイヒローと呼ばれる場所に、昔王宮として使われていた、いまは廃墟となつた建物が見つかったので、カロリング朝のその地方の主、カールマンの許可を得てこれを入手、七四四年修道院教会の建設を開始した。その土地の名もフルダと呼ばれるようになった。七四七年、ボニファチウスはシトルミをローマに送る。将来この院長となる者に、ベネディクト派修道制に関する教育と訓練が必要と判断した結果の派遣だったのだらう。一年後に帰還したシトルミは、フルダ修道院長の責を負う。その後、ここに集まる修道士の数が急速に増え、院の規模も大きくなり、その存在価値はローマ教皇庁にも高く認められるようになった。

「偽りの兄弟たちの敵意は異教徒のそれよりも悪質なものです。そのような狼たちのねぐらの中を歩くと、私を神が守ってくれるように」とのイングラントに送った彼の書簡が、当時の教会内の問題の深刻さをよく表わしている。

ときは七五二年、ボニファチウスも八十歳に近い老人となり、いまや後継者司教のことを考えなければならぬと、サクソン出身で高潔な精神をもつたルルという弟子がいたので、彼をメインツの司教補とすることができた。

「私は宣教師の旅に出発する熱に心燃やしている。何人も私の死を止めないでください。私の死は近い。私が死んだら遺体はフルダに運び、埋葬してもらいたい」と、ルルに言い残し、師はフリースランドへ向かへた。

今回の宣教師は海に近い、フリースランド北部が選ばれ、五十人ほどの徒者と共にドックムの村近く、宣教師はテントを張ってそこを本拠とした。宣教師の成果は大きかった。七五四年の聖霊降臨日の前日、土曜日に多数のフリースランド人が洗礼を受けた。数日後には彼らの頭を手を置いて、堅振の礼を行わなければならぬ。それは六月五日水曜日早朝と決められた。

「悪をもつて悪に対抗してはならない。神を信頼して、心を強く保て。彼らはわれららを殺せても、心は殺すこと

「私はあのもごたらしい虐殺の場に居合わせて、すべてをこの目で見ました。異教徒の剣がボニファチウス様の頭に振り下ろされたとき、司教様は一冊の本でもって頭を守っておられました」と、目撃者の一老女が、ボニファチウス殉教の様子を、後にユトレ

「私はあのもごたらしい虐殺の場に居合わせて、すべてをこの目で見ました。異教徒の剣がボニファチウス様の頭に振り下ろされたとき、司教様は一冊の本でもって頭を守っておられました」と、目撃者の一老女が、ボニファチウス殉教の様子を、後にユトレ

「私はあのもごたらしい虐殺の場に居合わせて、すべてをこの目で見ました。異教徒の剣がボニファチウス様の頭に振り下ろされたとき、司教様は一冊の本でもって頭を守っておられました」と、目撃者の一老女が、ボニファチウス殉教の様子を、後にユトレ

自身は、各地で教会会議を開き、旧フランク族の墮落した教会の改革に力を注いでいたが、反対勢力も強くなつてきた。聖職者に相応しからぬ生活をするフランク族の者を退け、自分の息のかかったアングロサクソン人を任命しようとする彼の改革作戦は、大きな反抗に直面した。当面の敵は、メインツのゲウイリプとトリアとランスのミロの両フランク人司教であった。前者は七四五年の会議においてなんと退位させられたが、後者の方はカールマン、ビビンとの両者と組んでボニファチウスに対抗して来た。その結果、ボニファチウスは東フランク地区の首府であるケルンの大司教の地位を得ることは叶わず、メインツの司教に留まることになった。その上、アングロサクソン人を任命しよう、という彼の計画も挫折した。

「私は宣教師の旅に出発する熱に心燃やしている。何人も私の死を止めないでください。私の死は近い。私が死んだら遺体はフルダに運び、埋葬してもらいたい」と、ルルに言い残し、師はフリースランドへ向かへた。

「悪をもつて悪に対抗してはならない。神を信頼して、心を強く保て。彼らはわれららを殺せても、心は殺すこと

「私はあのもごたらしい虐殺の場に居合わせて、すべてをこの目で見ました。異教徒の剣がボニファチウス様の頭に振り下ろされたとき、司教様は一冊の本でもって頭を守っておられました」と、目撃者の一老女が、ボニファチウス殉教の様子を、後にユトレ

「私はあのもごたらしい虐殺の場に居合わせて、すべてをこの目で見ました。異教徒の剣がボニファチウス様の頭に振り下ろされたとき、司教様は一冊の本でもって頭を守っておられました」と、目撃者の一老女が、ボニファチウス殉教の様子を、後にユトレ

「私はあのもごたらしい虐殺の場に居合わせて、すべてをこの目で見ました。異教徒の剣がボニファチウス様の頭に振り下ろされたとき、司教様は一冊の本でもって頭を守っておられました」と、目撃者の一老女が、ボニファチウス殉教の様子を、後にユトレ



フルダの街に残る大聖堂

# 医務室便り

## 帝京メデイカルセンター マーストリヒト

### 帝京メデイカルセンター 小林正明医師

## 最終回

アトピー性皮膚炎といえは、いまでは知らない人がいないくらい一般的な病名になってしまいましたが、その原因はまだまだはっきりせず、特効的治療法もないのが現状です。一般的な治療としてコンセンサスが得られているのはステロイド局所療法くらいのもので、報告されている治療方法は多種多様です。

日本では最近スキンケアの重要性が叫ばれていますが、ドイツの病院にかかると、きまって言われるのが「入浴をひかえない」ということです。ドイツはヨーロッパの国の中でも水の硬度が高い国であり、水中のカルシウムが皮膚に与える影響は、確かに無視できないかもしません。しかし、日本ではまず入浴と指導されるこの病気の基本的治療方針に、それほど差があつてもよいのでしょうか？

残念ながら私が調べた範囲では、アトピーと硬水の関係について記載された資料はまだ見つかっておりません。ただ、英国の医学雑誌に、アトピー性皮膚炎の推奨されるマナー・レジメンについて、最新の知見が書かれてありましたので、今回はこれを参考に、日本の方針と違いがあるのかを述べていくことにします。

見ても分かるように、英国も硬水の国です。しかし、この

論文に書かれていたアトピー性皮膚炎のケアは日本の方針とほとんど同じものでした。英国やドイツでもアトピーの頻度は比較的高く、報告では学童の二〜十%といわれていました。その頻度は過去三十一年間で増加傾向にあるようですが、最初の重要な治療ステップとしてあげられているのが患者、両親への説明です。これは日本の忙しい診療では軽視されていることかもしれせん。

つきに重要なのが、皮膚の清潔、すなわち入浴です。入浴には皮膚を清潔化する作用と皮膚に潤滑させる効果があり、バスオイルを使う方がよいとされています。せっけんは皮膚の脂分を奪うために使わず、液状クリームを使うのがよいとされています。これが何かははっきりしません。日本ではなるべく刺激の少ない、ベビーせっけんなどでよく患部を洗浄し、よく水洗いして、入浴後に奪われた脂分を補うため軟膏やクリームをすりこむ方法がすすめられています。

また、最近いわれている皮膚についての細菌がアトピーを悪くしていることにも触れてきました。難治性アトピーの患部からは、高頻度でアトピー球菌や溶連菌などの細菌が検出されますので、抗生物質を使用しこれらを治療すると書かれています。日本でも抗生物質が使用されることがありますが、一部の医師は皮膚

「入浴して患部をよく洗い、入浴後に保湿性スキンケア用品を患部に使用すること、これが基本です。もしアトピーで入浴をひかえておられる方がいたら、まず方針を変えてみてはいかがでしょうか。」

なお、前任の中里豊医師と共に小児の病状について、解説をしてきましたが、残念ながら本紙休刊のため連載できなくなりました。私どもが書き綴ってきたことが、少しでもみなさまのお役に立てたようなら幸いに存じます。

電話医療相談

TEL043-467511  
オランダの国番号は、31です。月曜から金曜の午後1時から5時まで受け付けています。  
TEIKYO Medical Centre  
Holland  
P.O. Box5720  
6202 MJ Maastricht  
The Netherlands

Hans-Jürgen Ungerermann  
Malermester  
H.J.ウングーマン  
マラーマイスター  
Kosenberg 14・40721 Hilden  
Tel: (02103)46003・FAX: (02103)48790  
Auto Tel: (0172)21 56 180  
住居、事務所などの壁塗り・各種ペイント・内装・カーペットクリーニング

海外引越のことなら **コヤナギ**

送った荷物には、いつも笑顔で再会したいもの。

どんなお荷物でもひとつ、ひとつで丁寧に運びます。

日本人スタッフが、下見から梱包まで一貫してお手伝いいたします。

海外引越、事務所移転、輸出入通関業務、航空貨物、車輸出入、絵画、アンティーク、倉庫保管業務、国内引越

**KOYANAGI GmbH** Tel.(02103)51097-8 Fax.(02103)581721  
% A.M.S. Atlantic Internationale Möbelspedition GmbH Hülsenstr. 52, 40721 Hilden Germany



# 第一回クララ・シューマン国際ピアノコンクール —舞台の表話、裏話—

岡田 裕

## 最終回

### 《予選のこと》②

予選で実際に聴いた出場者たちへの筆者の感想や、ロシア人出場者へのロシア「軍団」の激しい応援（演奏終了とともにプラウワー・プラウワーの喝采（かつさい）、そして舞台上のテレビもフロアの軍団もサッと引き揚げる態度は決して快いものではない）、あるいは審査員の評価のエピソードなど、どれも忘れ難い。ここではそれらを割愛して、今回のコンクール全体を通して最も忘れられない、五月女慧（さとおめけい）を巡るハプニングを紹介しておきたい。実際、このハプニングは感動的なドラマそのものであった。



第1回クララ・シューマン国際ピアノコンクール本選にて（右から稲川照芳在デュッセルドルフ日本国総領事、五月女慧、紫垣英二、杉谷昭子、可見亜理、筆者以上敬称略）

来ると五月女に演奏を中止させたのである。審査員が集まり協議を始める。聴衆は、いったい何事が起こったのかと固唾を飲んで成り行きを見守る。そのうち、だれからともなく曲目を間違えたらしいというささやきが出始めた。その通りであった。シヨパンの選出曲の一つスケルツォは、第一番のロ短調（ホルモル）なのに、第二番の変ロ短調（ホルモル）を弾いていたのである。

後日談だが、今年の春、パリの五月女宅で彼女に会ったとき、このときの思い違いの理由を聞いたが、本人にとっては苦しい思い出であり、恥ずかしさの気持ちもあつてか答えてくれなかった。審査員の協議の過程で、譜面を見てもいから第一番を弾かせようという話になり、フロアにいた出場者の秋葉芳美さんが急ぎよ講めくりのために、いったん舞台上に呼び出された。

それではなぜ、すぐに失格とならなかったのか。後刻、審査員から聞いたところによると、一次予選、二次予選の彼女の演奏には優れた才能が見られ、このまま失格にしてしまふのは惜しい、もう少し聴いてみようというところになったというのである。何となく素晴らしい審査員たちであろうか。聴衆はこの異例の処置に驚くとともに大拍手である。

後刻彼女は言う。自分の一大事のときに「私のことごとく迷惑をかけてすみません」と謝るのよ。自分の大変な状態を二の次にして、他人のことを思いやるこの若いピアニストに本当に感心し、感激してしまつた。と。

十九歳のこの若い、名前の通り聡明で、チャーミングなピアニストに対して、私たちが一層親近感をもつたのは、彼女が小学校三年生から五年生までアブタビ日本人学校に通っていたことであり、しかも父親がその学校の派遣教員であったことである。五月女幸雄氏は慧さんがパリに出たときから、教員を辞め、現在もフランスで画家として活躍中である。

この日が終わったとき、アルゲリッチが杉谷に「シヨウコは今日、ケイのために泣いてくれたよ」と話して、その言葉を耳にした。ロシア青年イリサフスキーの天性を見抜き、お金がないために毎晩パレードピアノを弾いてお金を稼がねばならない彼女のために、どうしてあげたらよいかと、一睡もせずに考えていたというアルゲリッチならではの影ながらの洞察である。こういう純粋で率直な彼女たちが、心を開いて親しくなつたのも、もつともという気がする。

② アンナ・グーラリ（二十二歳、ロシア）、ペートーベン 第三番  
③ 可見亜理（前述）、シヨパン 第二番  
④ アレクセイ・ポトヴィノフ（二十歳、ウクライナ）、ブラームス第一番  
⑤ レフ・ウイノクーア（二十四歳、ロシア）、メンデルスゾーン第二番

会場には出場者の国の総領事も招待されており、稲川照芳総領事は、審査結果の発表後も午前二時過ぎまで残られ、可見、五月女、紫垣の三名をねぎらい、激励されていらした。最初の演奏者、スターネフでは本人のピアノも伴奏のオーケストラも驚いたことに両方とも音が鳴らず、みな不思議がるばかりだった。当コンクールの出場者たちはすでにほかの何らかの内外のコンクールに入賞しており、勉強中の立場であっても、実際に演奏活動をしているコンサートピアニストたちである。その意味で、今回伴奏を受けもつた学生主体のオーケストラの採用は、主催者側にとって次の反省材料になつた。

「大辞泉（全一巻）」 小学館  
特別価格三〇三マルク（十二月末日まで）  
日々さまざまな言葉が生まれる昨今、それと同時に正確な言葉遣いもなおざりになりつつあるのではなからうか。日本人として正確な日本語を話すことは当たり前のことであるにもかかわらず、非常に難しくなっているのが現実だ。十一月に小学館から発売される「大辞泉」は、そんな言葉の真相を聞かされたのは今年に入ってからである。「マールタも昭子もカドフも、一位該当者なしを主張して譲らず、納得してもらつたの大変だった」というのである。

この評価を下したのは、たまたま女性三名だったのであるが、もちろん申し合わせた話ではないことは言うまでもない。彼女たちが一位としての音楽的才能を認められたのは、実は感性的に素晴らしい演奏をしたウイノクーアであった。だが、本選で彼の演奏したメンデルスゾーンの第二番のコンチェルトは惜しいことにミスが多過ぎた、だから一位には推せないというのであった。

「White Paper on International Trade Japan 1995」 シェトロ  
毎年通産省から発行される「英文通商白書」の九五年度版が発売された。充実したさまざまな統計データを掲載し、海外の貿易機関、エコノミスト、また輸出業者関係者には利用価値のある一冊。

「大辞林（第二版）」 三省堂  
特別価格一九七・二〇マルク（九六年五月末日まで）  
最大・最新・最高の本格派をうたい文句に国語辞典の決定版としてすでにおなじみの「大辞林」が、七年ぶりに全面改定され、十一月に発売される。二十三万三千項目、総ページ二千九百四十四とさらに情報量も増え、実用性に生まれ変わった。

「高木書店からの図書案内」  
辞典」など十二種類の辞典機能に加え、「漢字・難読語一覧」および、ABC略語辞典といった特色ある機能も加わった。日常出くわす言葉の疑問に答えてくれる便利な辞典だ。

「RU.S. and JAPAN in figures IV 経済編」 三五マルク  
本書のご予約はお気軽に高木書店までどうぞ。本の送料諸経費は七・五〇マルク。本についての詳しいお問い合わせは高木書店まで。

**独日障害児育成の会主催 第28回慈善コンサート**  
「河原泰則コントラバス・リサイタル」

ジュネーブ国際コンクールでの優勝後、ケルン放送交響楽団首席奏者またはソリストとして活躍中の河原氏を迎えてのリサイタル

日 時：9月16日（土）19：30～  
会 場：Palais Wittgenstein/パレ ヴィットゲンシュタイン  
Bilkerstr. 7-9, Düsseldorf

プログラム：ヴィヴァルディ ソナタ 嬰へ短調  
ラフマニノフ ヴァカリーズ  
ほか ゴダーイ、ポッテシーニなどの作品より

入 場 料：大人20マルク、子ども10マルク  
（日本クラブにて発売中）

後 援：デュッセルドルフ日本商工会議所、三井グループ各社

コンサートに関するお問い合わせは  
独日障害児育成の会 Tel: 02161-60 18 44まで

# フラウエン！ フラウエン！ 歴史上の女たち

ポウィルス・岡野喜美代

## ベッティナー・フォン・アルニム (一七八五〜一八五九) ④

### アヒムー農民詩人

一八一一年三月十一日、アルニムとヨアヒム・フォン・アルニムの旧知の牧師の家で、その妻が貸してくれた古い緑色の絹布で作られたミルテの冠を黒髪に飾って、ベッティナーはアヒムと結婚した。式の証人は、牧師とその妻だけであった。貴族の出でありながら、体面や虚飾を徹底的に嫌った二人らしい結婚式であった。

翌年、長男ライオンが生まれ、アヒムの物語集が出版される。二年後、ベルリンはプロシヤ・ロシア対ナポレオン戦争に脅かされる。アヒムや義兄のザウインニイも応召し、気丈なベッティナーは、身重でありながら、親族中たった一人の女性としてベルリンに踏みとどまり、男たちの世話をした。ライプツヒの戦いでナポレオンが敗れ、ベルリンは非常事態から解放されるが、市民は窮乏に悩まされた。

「結婚したとき、丸いものといえは服のボタンしか持っていなかった」と、ベッティナーは、祖父から相続した土地で農業をして暮らしを立てることを決



ベッティナー・フォン・アルニム(1809年)

行く。人里離れた田舎の生活に耐えかねてベルリンに家を借り、子どもたちと住むようになったベッティナーが、アヒムに自分の訪問を知らせた手紙の一文である。

「灰色の幾筋を交えた金髪の丈高きひと、緑の冠(詩人)を約束されたその額、住み慣れた孤独のときを歩むとき、詩人の英知の輝きわたる、そのかばせ、鋤(すき)き起こされたばかりの畝(うね)の上を私に向かって大股で進んでくる。その人のところに私は

### 二十年の歳月

愛情と相互理解がこれほどしっかりと結びついているように見えた二人の間にも、気持ちのすれ違いは往々にしてあり、それが二人の幸せに暗い影を落とすこともあった。

「神様が彼を愛しておぼしめしになったのです。彼の人格の熟成の証しとして、彼の背に生えてきた翼を広げ、あの人は創造主のもとへ飛んでいった。ベッティナーは、喪失の激しい痛みからアヒムの死を浄化するまで救われようとした。

### 悲しみを越えて

ベッティナーは、喪失の激しい痛みからアヒムの死を浄化するまで救われようとした。愛情と相互理解がこれほどしっかりと結びついているように見えた二人の間にも、気持ちのすれ違いは往々にしてあり、それが二人の幸せに暗い影を落とすこともあった。

「結婚したとき、丸いものといえは服のボタンしか持っていなかった」と、ベッティナーは、祖父から相続した土地で農業をして暮らしを立てることを決

せん。子どもたちはあなたにごあいさつを送り、私はあなたのお側にいたいと思いつつ、心からのキスを送ります」と書いた。

一緒にいれば諍(しやう)うくせに、離れていけば恋しい、彼らはそんな夫婦であった。その手紙にはザウインニイがプロシヤの法務大臣に任命されたことも書かれていた。

翌一八三二年一月二十一日、五十歳の誕生日までの五日を残して、アヒムはウィーバースドルフで脳溢血のため急死した。側にはだれもいなかった。

「神様が彼を愛しておぼしめしになったのです。彼の人格の熟成の証しとして、彼の背に生えてきた翼を広げ、あの人は創造主のもとへ飛んでいった。ベッティナーは、喪失の激しい痛みからアヒムの死を浄化するまで救われようとした。

### 世直しの試み

長年にわたるプロシヤ皇太子フリードリッヒ・ウィルヘルム四世との交信を通じて、ベッティナーは彼に影響を与え、国民の窮乏に目を開かせ、個人の自由と権利を賞め、憲法にもとづいて国を治める新しい時代を開く為政者となることを望むが、王となったフリードリッヒはしかし、煮えきらぬ態度で国民を落胆させた。

「この年の夏、ベルリンでコレラが流行すると、ベッティナーは貧民のための募金運動に加わり、自らの手で彼らに靴や薬を分け与えた。当時ベッティナーの知人の一人であった神学者、哲学者のシュライヤー・マッハーの理想主義的な影響があったことも否めないが、常に助けの必要もなかったところにいるのが、ベッティナーの習性のように思っていた。

「結婚したとき、丸いものといえは服のボタンしか持っていなかった」と、ベッティナーは、祖父から相続した土地で農業をして暮らしを立てることを決

だが、当時の世の中の動きは、彼女が考えるよりはるかに激しく、一八四八年、フランクフルトのパウルス教会で第一回のドイツ帝国議会が開かれ、マルクスはエンゲルスと共に共産党宣言を出した。しかし、帝国議会は二年を待たずに解散され、マルクスはイギリスへ亡命し、二十世紀を迎えるまで貴族政治は持続したのであった。

「神様が彼を愛しておぼしめしになったのです。彼の人格の熟成の証しとして、彼の背に生えてきた翼を広げ、あの人は創造主のもとへ飛んでいった。ベッティナーは、喪失の激しい痛みからアヒムの死を浄化するまで救われようとした。

### 第五幕 その2

## ドイツ たなおろ史

ヨアヒム・フェルナウ 伝田 敦 夫 訳

国王に選ばれたホーエンシュタウフェン家のフリードリヒ一世「バルバロッサ」は、在庫品の棚卸しようとして決心した。そこで上流騎士階級にローマ遠征の召集をかけた。町はずれの小高い丘の上の、どう見てもあまり快適とはいえない城塞で起居している騎士たちは、かなり前から気もそぞろに乱れ、すっかり腹にも据えかねてこうした新人類を見下ろしていた。

フリードリヒは北イタリアに向かい、過去二、三百年の間にすっかり変わってしまった国に足を踏み入れた。ローマ時代からの古い都市は、カピイのモの果だらけの「いばら姫」のような長い長い眠りの中にあつた。それがいつか最近、それまでの西洋式国家機構では全く未知の生命を取り戻したばかりだった。つまり、都市がそれぞれに小さな島国として息づいていたのである。そこは大きく成長し、豊かになっていった。巨大な城壁が築かれ、小規模ながらも固有の軍隊をもっていた。狭い道路に新しい高い家が立ち並び、住居はかつての王城さながらの造作がなされ、以前はたぶら代官の書記が雑貨商人かだったのが、いまではま

「結婚したとき、丸いものといえは服のボタンしか持っていなかった」と、ベッティナーは、祖父から相続した土地で農業をして暮らしを立てることを決

脳溢血の発作で倒れてから五年の長い闘病生活の末、ベッティナー・フォン・アルニムは一八五九年、その七十四歳の生涯を終えたのであった。

高齡の彼女の肖像画の味わい深い美しさは、年老いてなお、自由な精神を宿す黒い目の輝きに印象づけられている。物理的な束縛と貧困からはもうややく解放されたものの、イゾラチーン(隔離)とアパテイー(無感動)という新しい檻に閉じ込められている現代人の姿は、常に他人の問題にかかわることを恐れなかったベッティナーの黒い瞳にどんな風に映っているのだろうか。(完)

高貴な人たちが、例えば国家思想とか高遠な国策とか往時の国家主権とか、緊急事態などという別の意義を見いださずとも努力しても、重要なはいつも「パーセントがいくらいくらだけであった。過去二十年間、ドイツ皇帝はだれ一人イタリアにやってくる来ていなかった。租税の取り立てはいつのまにか取りやめになつていったし、命令ももう届かなくなつていった。法王も格別なんの考えもなく、なんらかの意思表示をするすれば、金が欲しいときだけだった。

こうしてイタリアの都市を覆う空気の中では、国家思想だの、ある種の無私の精神とか、理念を求めた奉仕や義務感については、かつてあった考えはもはやもう理解されなくなつてしまつていて、なんでも手に入るこの不埒(ふらち)な引換券である「カネ」が浸透しきつていった。バカに見られたくないものは、こぞつてこれにありつこうとあくせくしていった。

「結婚したとき、丸いものといえは服のボタンしか持っていなかった」と、ベッティナーは、祖父から相続した土地で農業をして暮らしを立てることを決

「結婚したとき、丸いものといえは服のボタンしか持っていなかった」と、ベッティナーは、祖父から相続した土地で農業をして暮らしを立てることを決



Illustration/Satoko Yoshida

(十面から)
を使ってほしいね、というあ
んばいであつた。

このイタリアに重武装をし
た数騎がブレナナ峠の旧
道を通つて下り降りた。遠
くかすむ彼方に大きな町の団
塊が見えてきた。騎士らには
あまりいい予感がしなかつた。

新しい王が来るという知ら
せはたちまちのうちに広ま
つた。ところが一隊の先頭がロ
ーマに向けて動いているので
はないと分るや、この王は
ローマ皇帝の冠を受け取りに
来たのではなく、なにか別の
目的があることが分かつてき
た。推測するまでもなく、だ
れにもすぐに察しがついた。

目的はミラノである。ミラ
ノはこのところ競争相手の都
市を容赦なく潰してしまつて
いた。古い年代記を読んでみ
ると、まるで今日の世界経済
に置き換えられたような錯覚
に陥つてしまう。自給自足経
済、輸出攻勢、撤収、がむし
やらな集中豪雨の爆撃。

フリードリヒは、イタリア
で自分が支配者であることを
示そうと思つたのである。
その結果として、ミラノと
取引関係にある盟友都市はす
べて直ちに門を閉じてしまつ
た。ミラノ市民は自ら二十メ
ートルも高い町の外壁の上に
立ち、ドイツでは一個あたり
銀貨一枚もある高いメロンを
フリードリヒに玉がけてはら
ばら投げつけた。

料理番がそのメロンをかき
集めた後で、フリードリヒ王
はこの反逆的な町をあまり効
き目がありそうにない帝国追
放処分にして、騎士軍団はそ
こを引き揚げた。以前から涙
ぐましいほど皇帝に忠実なロ
ンバルディアの首都パヴィア
は王を迎え入れ、抜かりなく
伝統的なロンバルディア王国
の王冠を授けた。

それから一行はローマに向
かつた。
ローマも当時、ほぼすべて
のイタリアの大都市と同様に、
ご多分にもれず新しい市民階
級の栄華にどっぷりつかつて
いて、法王はグレゴリウス七世
の時代とは全く違った立場に
あつた。言うなれば、ローマ
は極めて敬虔(けいけん)な
西洋の真つただ中にある最も
不敬な都であつた。諺に言う
「子言者は己が国にて容れら

れることなし」の通りである。
法王はフリードリヒに、な
にぶん理解してほしいと望ん
だ。
ローマもフリードリヒの理
解を望んだ。教会の世俗支配
欲に反抗しているプレスキア
の僧を旗頭に、ローマはずで
に「共和国」を宣言して、
世俗的事柄に法王の出る幕は
なくなつてた。フリードリ
ヒはしかし、この町の意に反
した。彼はプレスキアの僧を
捕まえて法王に引き渡し、法
王はついでこの折にこの僧を縛
り首にして火刑に処させた。

法王はそれからしらぬ振り
で身の潔白をたててから、少
なくともまだ自分が主(ある
じ)であるサンビエトロ寺院
でフリードリヒを皇帝に戴冠
した(一五五年)。人びとは
狂人のように興奮し、武器を
取つてついでに皇帝が祝宴中
の郊外の宿営地を襲つた。事
態は極めて険悪となり、フリ
ードリヒ自ら戦わねばならな
いほどだつた。

皇帝の軍は、方々の都市で
絶えず悩まされながらドイツ
に帰還した。
結果はワン・タイトル。
読者諸氏もこの辺で、筆者
と全く同じ状態になつておら
れるだろう。つまり、うやう
やしく両手を下げ、鼻をすす
り、無力な虚脱状態に襲われ
たような気分なのである。一
体全体なぜこの人物はなんと
して、平穩無事にキャベツで
も作つていなかつたのだらう
か。そもそも皇帝たるものは
いつも計画をめぐらし、なに
か特別の望みがなければなら
ないのだらうかと。

いやはややなんたることか。
これにどう答へたらいいのか。
われらが曾々々々々じいさん
だつて、一度たりともそんな
疑問をもつたりはしなかつた
はずだ。今日のわれわれはす
つかりくたびれてしまひ、休
息が必要になつてきたよう
である。老いぼれだした民族の
証しというものは多分これなの
だ。
こういう疑問にはフリード
リヒ・バルバロッサはさぞか
しびつくり仰天するだろう。
彼だつて今日の政治家のよう
に、まことに驚嘆に値するほ
ど平穩に事を成り行きに任せ、
さりとして格別に遠大な思想も

もたず、毎晩現金の残高を調
べるといつたようなやり方だ
つてできたはずである。もち
ろん、どうしたらいいかさつ
はり見当もつてまいが、彼を
はじめ中世全体にわたつて、
むこうからやってくる仕事を
片づけさせればよい、など
といふことは到底理解できな
かつたはずである。

たぶん読者諸氏はここで申
されるだろう。
「それなんだよ、全く。だ
からそれが世界の歴史に恐ろ
しい大騒ぎが生まれる元なん
だよ」と。

その通り。
そこから人生における恐ろ
しい不穏が生じる。否定しよ
うもない。しかし、完全なる
静けさは残念ながら築場だけ
なコトワイリッパ・レームツ
マが常に計画を練つたり、聞
き耳を立てたり、熟考したり、
心配したりすることを止めて、
隠遁主義に徹してしまつたら、
彼はモク拾いで終つてしま
うだろう。これも人生とい
うものなのだ。誉れ高き赤ひげ
皇帝の生き方は残念ながら正
しいのだ。

だから、彼はまたしてもイ
タリアへ遠征した。
棚卸しは二十五年間続いた。
この二十五年間にわたる戦国
の時代は、これを学ぶ後世の
ものにとつて神経をすり減ら
すような絶えざる勝ち負けの
繰返しであり、幾多の戦開
の模様や奸智(かんち)にた
けた駆け引きや予想を裏切る
退却の、誠実な協定や妥協
や失策の数かずなどの、まさ
しく手に汗を握る不安に満ち
たくだりなのだが、後世のわ
れわれに伝えられた中では最
も驚くべきことは、赤ひげ皇
帝の名が負けるたびに高ま
つていったことである。その
理由はもはや分かるべくもな
く、ただただ驚くばかりであ
る。

フリードリヒ赤ひげ皇帝が
「白ひげ皇帝になつたこと、
よくよく好むこの無茶な冒険
をやり終えた。
棚卸しは終了した。
結果は——引き分け。
フリードリヒは、ミドルヘ
ビー級のヨーロッパチャンピ
オンにままだつた。ボクシン
グに多少心得のある人には分
かることだが、これはいまま

でのチャンピオンの座の最後
の歌だということなのである。
ドイツはがっかりした。なに
しろドイツは高い入場料を払
つたのだし、当然「KO勝ち」
を期待していたのだ。フリー
ドリヒ・バルバロッサは家を
あちこちたたき回つて、壁を
白く塗り替えさせたが、間借
り人を引きずり出しはしなな
かつたのだ。彼はその家の階下
を確保し、法王は二階に住み、
台所のイタリアは共同使用だ
つたわけである。

その家はシックに見えた。
その様子をお話する前に、ま
ずフリードリヒ・バルバロッ
サがそれでどうなつたかを申
し上げねばなりません。要
するに、彼は西洋の君主のよ
うではあつた。二人の息子の
騎士叙任式に、ヨーロッパの
半分もがメインツに押し寄せ
たくらみである。あらゆる国
々から騎士四万騎と、急ご
しらえた巨大なテント村と
本造教会の様などが古い年代
記に述べられている。フリー
ドリヒは人生の最後を、また
も何者かに占拠された聖地を
聖地を奪回するための十字軍
で飾るはずだつた。帝国議會
で十字軍参加の「十字の印」
を手にした瞬間は、彼自身と
同様に魅惑的な盛り上がりで
あつた。彼はこの帝国議會に
「イエス・キリストの帝国議
会」という特別な名をつけた。

儀式のあいだ、彼は玉座にも
座らなかつたため、そこは空
席のままだつた。キリストの
予約席だつたからである。(第
三回十字軍は一八八九年から
一九二二年に遠征一訳注)
この人物が並の死に方がで
きなかつたのは当たり前であ
る。読者諸氏もそれ以外期待
してはおられまい。
フリードリヒ・バルバロッ
サは、十字軍からついに帰還
しなかつた。一九〇〇年に小
アジアのサレフ川で水中中に
溺死した。彼の遺骸がどこに
埋葬されたかは、いま
のわれわれには知る由もない。
彼がもう再来しないなどとい
うことは、ヨーロッパには
想像もつかないやうだつた。
彼は再来すべきなのだろう
か?

筆者にもどうもよくは分か
らない。(第五幕終わり)
平安末期から鎌倉時代に移る
源平盛衰の時代。一六七七年
に平清盛太政大臣となる。一
一八〇年ごろから平氏は都落
ちを始め、一一八五年には平
氏は壇ノ浦で滅亡。一一八九
年に源義経が自害。一一九二
年に源頼朝が鎌倉に幕府を開
いた)
※

「ドイツたなのおろ史」のこ
の先(第八幕まで)を希望の
方に編集部まで、八月末日ま
で書面にて三マルクの切手同
封の上(ドイツ国内のみ)、申
し込みください。
そのほかのお問い合わせは
訳者(☎〇二二一—三二八五
七五バリエキ内)まで。

予約席だつたからである。(第
三回十字軍は一八八九年から
一九二二年に遠征一訳注)
この人物が並の死に方がで
きなかつたのは当たり前であ
る。読者諸氏もそれ以外期待
してはおられまい。
フリードリヒ・バルバロッ
サは、十字軍からついに帰還
しなかつた。一九〇〇年に小
アジアのサレフ川で水中中に
溺死した。彼の遺骸がどこに
埋葬されたかは、いま
のわれわれには知る由もない。
彼がもう再来しないなどとい
うことは、ヨーロッパには
想像もつかないやうだつた。
彼は再来すべきなのだろう
か?

DÜSSELDORF
HILTON

デュッセルドルフ・ヒルトンホテルに
日本人新スタッフが着任



着任したばかりの飯塚さん

和のくつろぎをキャッ
チフレズにしているデュッ
セルドルフ・ヒルトンホテル
では、七月から新たな日本人
スタッフを迎えた。
「協同性をもって現地スタ
ッフと仕事をしたい」と
と抱負を語る飯塚吉彦さんは、
これまで日本国内のヒルトン
ホテルで三年間飲料部に、そ
して六年間営業部でホテルマ
ンとしての経験を積んできた。
「ヒルトンホテルというと、
外国のホテルというイメージ
が強いのか、いらっしやるお
客様もどこか緊張していらっ
しやる方が多いと聞きますが、

インターナショナル
フローラルデザイン
~The Dutch Way~



注目を集めた巨大ローレル・リース

のテクニクは一番難しく、
また一番重要な点でもありま
す。しかし、テクニクをマ
スターすれば、何でも作るこ
とが可能になります。
例えば、グッチ・ガーデン
のような小さなアレンジメン
トを、どのように作るかも知
ることができれば、同じ型で
もさらに大きなものを作るこ
とができるのです。フラワー
パレードのような大きいアレ
ンジメントも可能です。サイ
ズはもちろん、使う花、葉物、
植物の数は違いますが、原理
は全く同じです。あとはそれ
を作る勇気が必要だけなの
です。
ひとつのよい例をここでご
紹介したいと思います。
オランダでは、勝利者のシ
ンボルとしてローレルのリー
ズを作ります。このリースは
葉物だけで作られ、七〇/八
〇cmぐらいのサイズで、下部
は広く、上の方は狭く作りま
す。オランダではマスターデ
ザイナーのための学校でその
紹介してききました。中でもそ
う飯塚さん、ブライベートで
は、ツールドフランスを、は
じめ、さまざまなスポーツイ
ベントを生で見たいといっ
ドイツをはじめヨーロッパ
を訪れるのは初めてだが、こ
れまで世界各国の、そしてさ
まざまな客をもてなしてきた
経験は、ここでも十分に生か
されるに違いない。

万人もの人びとを集めてアム
ステルダムで開催されます。
期間中の八月十日から十四日
までは、古い蒸気船がたくさ
んの花や植物でデコレートシ
ョンされる、フラワーパレード
の水上版のようなフラワート
ョー(Aqua Corso・アクア
コルソ)が開催されます。
オランダでは、フラワービ
ジネスに関して多くのことを
学んだり、見ることもできま
す。いつでも何か新しいこと
やアイデア、そして世界中か
らの新しい花に満ちあふれて
いる国です。もし、あなたが
望むなら花に関して、毎日で
も学ぶことができます。
趣味で花を楽しむ方にも、
またプロフェッショナルの方
にも、オランダは世界で最も
素晴らしい機会を提供してく
れる国だと思えます。ですから、
私の学校は先に述べた有名
な催し物の際にはコースを
設けています。
一週間コース、六週間のプ
ロフェッショナルコース、一
日コース、半日コース、フラ
ワーパレード・バックフラワー
を組ませたツアーなども企画
しています。これらは短い滞
在でも長い滞在でも、訪れる
価値のあるものばかりです。
まだまだ学ぶべきことはた
くさんありますが、私の連載
を通してみなさんが楽しく読
んでいただけていたら幸いで
す。私の家族、私、そしてア
ールマ・ジャパン代表の鶴塚
奈美は、これからもみなさま
が末永く花のある生活を楽し
まれることを望んで、お別れ
にしたいと思います。そして
オランダ、アールスメアで
みなさんとお会いできる日を
楽しみにしています。そして
いつの日か日本でも……
(日本語版作成: プールマジ
ヤン代表 鶴塚奈美)

Georg-Glock-Str. 20
40474 Düsseldorf
☎0211-4377-0(代)
☎0211-4377-777(直通)

Theo Boerma AIFD, /テオ・ブールマ
director Boerma Institute/
International Floral
Design School
Legmeerdijk 227, P.O. box 297
1430 AG Aalsmeer, Holland
Tel. 31-(0)20-64 70 543
Fax. 31-(0)20-64-00-549

# DAS LEBEN IN EUROPA

"Das Leben in Europa" erscheint monatlich in der Verlagsabteilung der T. Takagi GmbH Immermannstr. 31, 40210 Düsseldorf. Tel. (0211) 16671-28 Herausgeber (発行者): Tsunejiro Takagi

Stv. Chefredakteur: Tsunejiro Takagi  
Druck: Kosaido Tokyo  
Vertrieb in Japan: Kaigai Shinbun Fukyu 2-9 Shibaura, Minato-ku, Tokyo 108  
Tel. (03) 5476-8108

《Monatszeitung》 Nr. 212 August 1995 F 7931E

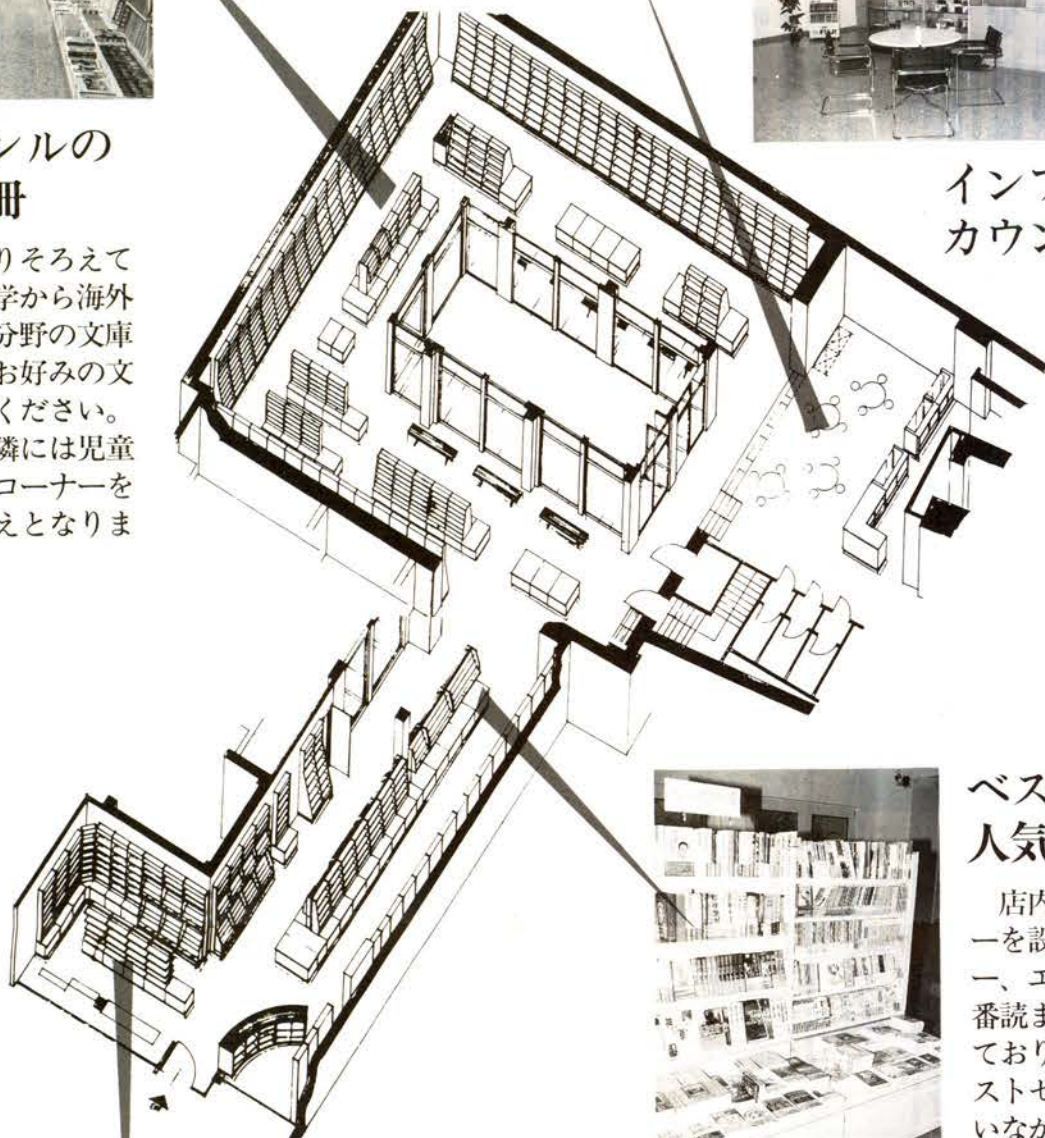
## みなさまの高木書店が生まれ変わりました。

店舗面積を500㎡に拡張し、日本の多くのジャンル別書籍や、日本に関する英・独文の本などを豊富に取りそろえました。全書籍数9万冊、日本の出版物は高木書店/JAPAN BOOK CENTERにお任せください。雑誌の定期購読をはじめ書籍等の配送はご注文に応じて、ヨーロッパ中どこへでもお届け致します。



### さまざまなジャンルの文庫が常設二万冊

常に二万冊の文庫を取りそろえております。日本の古典文学から海外ミステリーまでの幅広い分野の文庫を作家別に並べました。お好みの文庫をごゆっくりとお選びください。また、文庫コーナーの隣には児童書、参考書、コミックのコーナーを設置。さらに豊富な品揃えとなりました。



### インフォメーション・カウンターの情報提供

インフォメーション・カウンターでは書籍に関するお問い合わせのほかにも、新聞、雑誌定期購読、JSTV (ジャパネットテレビジョン)、OC S クーリエサービスに関するお問い合わせにもお答えしております。また、店内フジカラーセンターでは現像、焼き付けのほか、各種証明写真、記念撮影も受け承っております。

### ベストセラーコーナーで人気の書籍が店頭

店内には、新たにベストセラーコーナーを設置。ノンフィクション、ミステリー、エッセー、小説など、いま日本で一番読まれている話題の書籍を取りそろえております。毎週、日本で発表されるベストセラーを航空便で取り寄せ、海外にいながらにして、日本で人気の書籍がいち早く手に入るようになりました。



### 品数豊富にサンリオ・グッズがさらに充実

文具、雑貨のコーナーがさらに広くなりました。使い慣れた日本の文具をはじめ、さまざまな商品がお求めになれます。またサンリオ・グッズがさらに充実。文房具、お弁当グッズなど人気のキャラクター商品が勢ぞろい。お子様の誕生日祝い、またそのほか贈り物としてご利用ください。

## 高木書店/JAPAN BOOK CENTER

営業時間：月～金曜 9：30～18：30、木曜 9：30～20：00、土曜 9：30～14：00  
第一土曜 9：30～16：00 (4～9月)、9：30～18：00 (10～3月)

Immermannstr. 31/Oststr. 78・40210 Dusseldorf Tel. 0211-1667128 FAX. 0211-35 08 46  
雑誌・書籍・新聞のお申し込みは、上記へ書面にて、郵送もしくはファクスでお申し付けください。